心理学研究の実践 II

科目ナンバリング　PSY-102
選択必修　　2単位

茂垣　まどか

1. 授業の概要（ねらい）

心理学の研究者たちの一連の研究の流れ（問題意識～手法～結果～考察・結論）を解説する。講義やグループワークを通して，心理学的な物の考え方の基礎を身につけることが目的である。

2. 授業の到達目標

心理学研究法の基礎を身につける。
心理学研究の結果をデータから正確に読み取ることができる。
研究者の視点で，身の回りの問題について考えることができる。
尺度の作成や基礎的なデータ分析を行うことができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加度30%，中間試験30%，期末レポート40%で総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
指定しない。資料を用いて授業を進める。
参考文献
小塩真司（著）　はじめて学ぶパーソナリティ心理学　ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

事前に指定・選択した論文や専門書を読んでレポートを提出する必要がある。
授業時間外で調査にまつわる作業やそのためのグループワークを行う必要がある。
授業で配布した資料，ノートなどを読んで復習すること。

6. その他履修上の注意事項

心理学研究の実践Ｉを受講しておくこと。
第1回イントロダクションに必ず出席し，この授業の進め方をよく理解したうえで受講すること。欠席した場合の不利益が大きいので注意すること。
グループ活動を通して意見交換や理解を深めることを実施するため，授業への積極的参加が求められる。
授業計画は，進行状況に応じて調整する場合がある。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション
【第2回】　パーソナリティ理論の概説
【第3回】　パーソナリティ測定に関する概説
【第4回】　心理尺度とは
【第5回】　心理尺度の紹介
【第6回】　研究仮説の設定
【第7回】　心理尺度の作成1
【第8回】　心理尺度の作成2
【第9回】　心理尺度の作成3
【第10回】　データ入力と分析
【第11回】　結果の検討1
【第12回】　結果の検討2
【第13回】　結果の検討3
【第14回】　研究者倫理に関する解説
【第15回】　まとめ